

第2学年 道徳学習指導案

日 時 平成17年10月28日(金)2校時
対 象 1組(男子17名 女子18名 計35名)
指導者 貫洞 淳子

1 主題名

心をこめてあいさつ [礼儀2-(1)]

2 資料名

なんか へん(出典:光村図書「きみがいちばんひかるとき」2年)

3 主題設定の理由

(1) 価値について

第1学年および第2学年の指導内容2-(1)は、「気持ちのよいあいさつ、言葉遣い、動作などに心がけて、明るく接する。」をねらいにしている。

学校の中でも、家庭でも人とのかかわりがあれば、あいさつをしたり話したりする場ができる。その中で、人とよりよい関係を築いていくためには、状況をわきまえた明るいあいさつや態度が必要であり、その根底には相手を思う気持ちが必要である。

低学年では形だけではなく、明るいあいさつのよさや言葉遣いの大切さをわかり、互いに気持ちよくくらしとする態度も育てたい。

(2) 児童について

児童は、あいさつは必要なものと考え、元気に大きな声でしようとしている。朝のあいさつ、食事のあいさつなど、日常の中で頻繁に出てくるあいさつの場面をあげ、きちんとできていると答える。

しかし、元気に言えばよい、忘れずに言っていると思っても、相手にどう受け止められているかという意識であいさつをしている児童は少ない。タイミングを失い黙ってしまうこともある。また、形式にこだわるあまり、していることとあいさつがちぐはぐになっていることもあると思われる。

こうした実態の中で、場に適したあいさつをすること、あいさつをしあうこと、そしてそこには、相手に対する気持ちがあらわれるのだということを感じ取らせたい。

(3) 資料について

本資料は友達が家に遊びに来た主人公の気持ちを、「なんか、へん」という言葉で表している。一緒に遊ぼうと喜んで友達を迎えた主人公は、友達の行動に少しとまどう。一緒に遊ぼうと思っていたのに、一人一人ゲームを始めてしまったのだ。「おやつをいただいてもいいですか」と伺いを立てながら冷蔵庫の取手を持ち、勝手に出して食べる友達の様子に、ますます「なんかへん」と思う主人公。とても丁寧な言葉であいさつをして友達が帰っていった後、呆然として立ち、主人公は「なんかへん」とつぶやく。

日常でよくありがちな光景を漫画タッチに描いた本資料は、とても親しみやすい。次々と出てくる丁寧な言葉遣いと、それに対して「なんかへん」と繰り返される言葉から、なにが変なのかを探ってみたくなる。心を伴わないあいさつは、どんなに言葉が丁寧であろうとやはり失礼なのだと、納得することのできる資料である。

(4) 指導にあたって

本校は、年間を通して児童会を中心にあいさつ運動に取り組んでいる。この取り組みを通して、2年生児童もあいさつのよさに気付き、「あいさつをしよう、元気に返そう」という意識が育ち始めている。

本時の気づく段階では、あいさつをするときの気持ちを意識するために「あいさつの言葉」を子どもたちに尋ね、たくさんの経験を引き出したい。

見つめる・つかむ段階においては、友達を家に迎える主人公の気持ちに十分共感させながら、言葉遣いとはちぐはぐな行動に戸惑っていく主人公の気持ちを考えさせたい。

広げる段階では、改めて友達の行動を「なんかへん」と思った理由を話し合わせる中で、あいさつは形だけではないことを考えさせたい。

まとめる段階では心のこもったあいさつを交わした経験を聞き、事後は、毎日のくらしでの、礼儀への関心を高めたい。

つかむ 10分	(4) 言葉遣いの大切さについて話し合う。 ○ どうして「なんか へん」と思ってしまうのでしょうか。	<ul style="list-style-type: none"> 勝手に遊んでる。 行儀が悪い。 失礼な感じ。 言ってることとしていないことが合っていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 難しいときは、話している言葉と、友達の行動を切り離して比較させる。
広げる 7分	4 言葉について、どんなことに気をつけたらよいかを話し合う。 ○ 言葉遣いに気をつけてよかったと思うのはどんな時ですか。	<ul style="list-style-type: none"> あいさつをして、ここにこしてくれれば嬉しい。 丁寧な言葉遣いをし、ほめていただいたことがある。 心がこもっていると、あいさつをしても返してもらっても嬉しい。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手に気持ちが通じるためには、態度も大切なことに気づかせたい。
まとめる 5分	5 本時のまとめをする。 作文の紹介。		<ul style="list-style-type: none"> 心のこもった言葉遣いと態度ができた経験を前もって取材しておく。

6 板書

こころのこもった
ことばづかいとあいさつ

挿絵 4

挿絵 3

挿絵 2

なんか へん

あれ？
いっしょにあそぼうと思っただのに
さんねん
聞いてないぞ

5

かっぺに出して食べてるぞ
こまったなあ

いっしょにあそぼう
よくきてくれたなあ
楽しみ

なんだかすっきりしないよ
ちっとも楽しくない
なんかへん

6

挿絵 1

挿絵 7

挿絵 1

7 資料分析

資料名 **なんか へん**

出典: 光村図書「きみがいちばんひかるとき」2年

◎ ねらい

心のこもった言葉遣いや動作に気づき、明るく接しようとする態度を育てる。

場面	①遊びに来た友たちを迎える男の子。	②2階に駆け上がり、勝手に遊び始める友達を見て、「なんか へん」と思う男の子。	③おなかがすいて、勝手に冷蔵庫をあけ、むしゃむしゃ食べる友達を見て「なんか へん」と思う男の子。	④丁寧にあいさつをして帰った友達に「なんか へん」とつぶやく男の子。
外的状況と主人公の心の動き	<p>友達が遊びに来た。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一緒に遊ぶの楽しみ。 来てくれて嬉しい。 <p>楽しみ</p> <p>嬉しさ</p>	<p>一緒に遊べない。</p> <ul style="list-style-type: none"> 一緒に遊ぶのじゃないのかあ。 僕を無視しているみたい。 <p>不思議</p> <p>戸惑い</p>	<p>勝手に冷蔵庫を開ける友だち</p> <ul style="list-style-type: none"> 勝手に出して食べる。 困ったなあ。 何だか嫌だなあ。 <p>困惑</p>	<p>あいさつをして帰る友達</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>心のこもった言葉遣いと態度</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> 何だかすっきりしない。 言葉が変。 していることも変。 <p>困惑</p>
児童の意識	<ul style="list-style-type: none"> お友達の家遊びに行くとき、元気に挨拶しているよ。 同じだよ。 	<ul style="list-style-type: none"> 同じようにゲームをして遊ぶよ。 一緒に見たりしているよ。 それが悪いのかな。 なんか違うなあ。 	<ul style="list-style-type: none"> 勝手に走っちゃった。 冷蔵庫を勝手に開けるのはよくない。 やな感じ。 言ってることはいいんだけど。 	<ul style="list-style-type: none"> とっても丁寧な言葉遣いだよ。 でも、何だか失礼な友達だ。 嫌だなあ。 なんか、変だよ。
発問	○友達が遊びに来たとき、どんな気持ちでしょう。	○友達がゲームで遊び始めたのを見て、どう思ったでしょう。	○冷蔵庫からおやつを出して食べている友達を見て、どんな気持ちになったでしょう。	○「なんか へん」とつぶやいている時の気持ちを考えましょう。 ◎ どうして「なんか へん」と思ってしまうのでしょうか。